

# インフォメーション

## 春の叙勲受章

おめでとうございます

4月29日付けで、春の叙勲・褒章が発令されました。市内の受章者は、次のとおりです。

### 叙勲

旭日双光章

▼草野 譲さん（東山代町）  
元伊万里市議会議員

瑞宝双光章

▼日高 重幸さん（松島町）  
学校医

### 叙勲について

国や公共のために功労のあった人、社会の各分野において優れた行いのあった人などに對し、国としてその功績や業績を表彰するために、『栄典制度』が設けられています。その荣誉のしるしとして勲章や褒章が授与されます。いくつかの種類がある勲章の中で、旭日章は、功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた人に、瑞宝章は、公務などに長年にわたり従事し、成績を挙げた人に授与される勲章です。勲等（勲章の等級）を授け、勲章を与えることを叙勲と言います。

## 『唐臼小屋復旧プロジェクト』を応援してください

目標金額 100 万円

● 問合先 観光戦略課観光振興係 (☎09031)

### 秘窯の里・大川内山にある唐臼小屋とは

伊万里焼の原料である陶石を水の力を利用して砕く装置のことです。江戸時代には将軍家や諸大名に献上する格調高い作品を制作していました。当時は大川内山の河畔に多くの唐臼小屋が建ち並んでいましたが、昭和40年代に姿を消しました。昭和59年に往時の姿を再び再現され、今では鍋島藩窯公園のシンボルとなっています。



大川内山の鍋島藩窯公園にある『唐臼小屋』

### 唐臼小屋の現状

地元住民や多くの観光客に愛されている『唐臼小屋』ですが、現状では経年劣化により丸太が腐食しています。また、丸太に水を供給する水路も朽ち果ててしまっており、景観を損ねています。

### 唐臼小屋を復旧させるために

伊万里市がプロジェクトオーナーとなる、ガバメントクラウドファンディング(※)で寄付を募っています。支援いただいた寄付金は、腐食した丸太の取り替えや朽ち果てた水路と支柱の取り替えなど、修復費用に活用します。



腐食し、中央部分に亀裂が入っている丸太

### ガバメントクラウドファンディングとは

『ふるさとチョイス』がふるさと納税制度を活用して行うものです。自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄付金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した人から寄付を募ります。

※寄付金は、来年度の税額控除の対象となります。  
市民はお礼の品を選ぶことができませんので注意してください。

『ふるさとチョイスガバメントクラウドファンディング』サイト  
<https://www.furusato-tax.jp.gcf/>



←寄付はこちらから

# 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

## 新しい生活様式の実践例

● 問合せ 健康づくり課健康推進係 (☎ 3916)

5月4日、新型コロナウイルス感染症を想定した『新しい生活様式』を皆さんに具体的にイメージしてもらえよう、日常生活の中で取り入れてほしい実践例が国から示されましたので、一部を紹介します。

### ☑ 一人一人の基本的感染対策

#### 感染防止の3つの基本

- ①身体的距離の確保
- ②マスクの着用
- ③手洗い

#### 移動に関する感染対策

- ▷感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- ▷発症したときのため、『誰』と『どこ』で会ったかをメモしておく

### ☑ 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ▷『3密』の回避（密集、密接、密閉）
- ▷毎朝の体温測定、健康チェック。発熱やかぜの症状がある場合は無理をせず自宅で療養

### ☑ 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- ▷計画を立てて素早く済ます
- ▷レジに並ぶときは、前後にスペースを確保する

#### 娯楽、スポーツなど

- ▷狭い部屋での長居は無用

#### 公共交通機関の利用

- ▷会話は控えめに

#### 食事

- ▷持ち帰りや出前、宅配を活用する
- ▷大皿は避けて、料理は個々に盛る
- ▷対面ではなく、横並びで座る

### ☑ 働き方の新しいスタイル

- ▷オフィスは広々と使う
- ▷対面での打ち合わせは換気しマスク着用

## 特別定額給付金の申請はお早めに

● 問合せ 新型コロナウイルス感染症対策生活支援室 (☎ 4122)

#### ● 給付額

給付対象者1人につき10万円

#### ● 給付対象者

- ▷基準日（令和2年4月27日）において、住民基本台帳に記録されている人
- ▷受給権者はその人の属する世帯の世帯主

#### ● 受付期限

8月7日（金）（消印有効）

#### ● 申請手続き方法

##### ① 郵送

受給権者宛てに届いた申請書に振込先口座などを記入し、口座と本人確認書類の写しを添付し、同封の返信用封筒に入れて郵送してください。

##### ② オンライン申請

マイナポータルから振込先口座を入力したうえで、口座の確認書類をアップロードし、電子申請をしてください。

※オンライン申請はマイナンバーカードが必要です。

**オンライン申請はこちら↓**

『特別定額給付金ポータルサイト』 <https://kyufukin.soumu.go.jp/>



↑ 郵送された封筒



↑ スマートフォンからも申請できます

## 子育て世帯に臨時特別給付金を支給します

● 問合せ 子育て支援課子育て支援係 (☎☎2310)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、児童手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給します。

● 対象者

令和2年4月分の児童手当受給者（3月中学校卒業児童分を含む）

※児童手当の特例給付受給者（児童手当所得制限限度額以上の人）は対象となりません。

● 給付額

対象児童1人につき1万円

● 申請方法

原則として、申請は不要です。児童手当振込口座に振り込みます。

公務員は申請が必要です。所属庁から支給対象者の証明を受けて、子育て支援課に直接提出または郵送してください。

● 公務員の申請期限

11月17日（火）

● 郵送先

〒848-8501

伊万里市立花町 1355 番地 1 伊万里市役所子育て支援課子育て支援係宛



## 国民健康保険の傷病手当金を支給します

● 問合せ 市民課年金保険係 (☎☎2153)

新型コロナウイルス感染症に感染した被用者などに対し、傷病手当金を支給します。

● 対象者

国民健康保険に加入している被用者（給与の支払いを受けている人）のうち、新型コロナウイルス感染症に感染または発熱などの症状があり感染が疑われる人で、その療養のため就労ができず、給与の全部または一部を受け取ることができなくなった人

● 支給対象日数

就労ができなくなった日から起算して3日を経過した日から、就労ができなかった日数

● 支給額

直近の継続した3か月間の給与収入の合計額を、就労日数で除した金額の3分の2に相当する額×支給の対象となる日数

$$\text{支給額} = \frac{\text{直近の継続した3か月間の給与収入の合計額}}{\text{就労日数}} \times \frac{2}{3} \times \text{支給対象日数}$$

● 適用期間

令和2年1月1日から9月30日までの間で、療養のため就労ができなかった期間（ただし、入院が継続する場合などは最長1年6か月まで）

● 申請方法

申請を希望する人は、必ず事前に電話で相談してください。

● その他

後期高齢者医療保険の新型コロナウイルス感染症にかかる傷病手当金については、広報伊万里7月号でお知らせします。



伊万里梨・伊万里牛の産地強化に取り組みます

● 問合せ 農業振興課農政企画係、営農流通係 (☎25557)

伊万里梨産地強化  
支援事業

伊万里梨は、市の特産品としてだけでなく、市内に人を呼び込み、伊万里をPRするうえで、欠かせない重要なブランドです。

しかし、市の農家数の減少は著しく、梨農家も例外ではありません。平成21年に243戸だった梨農家は、令和元年には148戸と、10年間で4割減少していることが分かります【グラフ1】。

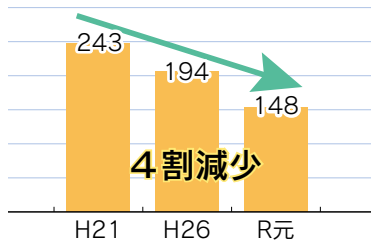
このまま梨農家の減少が続けば、伊万里梨としてのブランドの維持が懸念されるため、新たに梨産地強化支援事業に取り組み、伊万里梨の産地強化を進めていきます。



↑伊万里梨

【グラフ1】 梨農家数

単位：戸



【J A伊万里梨部会資料より】

梨農家数の推移と、それに伴う影響

栽培面積 4割減少  
出荷量 5割減少  
販売額 3割減少

このままでは、伊万里梨としての産地維持が困難

将来の梨産地を維持・強化するための3つの取り組み

新規

① 梨園を守る取り組み —集落全体で梨園を守る—

● 梨園を守る会の設立・運営の支援

- ▷ 『モデル地区』梨園を守る会支援【既設】上限30万円(最長2年間)
  - ▷ 梨園を守る会設立支援【新規設立】上限20万円(最長3年間)
- 先進地視察研修費、会議費などの運営費を助成

新規

② 新規就農者確保の取り組み —研修期間中の支援—

● 梨栽培研修期間(無収入期間)における生活費などの支援

- ▷ 年間100万円の給付(最長2年間) ※夫婦の場合は150万円

制度の見直し

③ 生産量確保の取り組み —改植事業および梨園の流動化—

● 改植に係る費用相当分を全額助成【同一品種など】

- ▷ 10a当たり上限10万円補助 ※国庫補助の対象は除外

● 梨園流動化の推進【新たに梨園の賃借などをした場合の奨励金】

- ▷ 10a当たり3万円補助(賃借などをした年度に一括交付) ※3年後の報告義務あり



↑伊万里梨発祥立川の梨園を守る会代表 田代直樹さん(大川町)

「伊万里梨発祥立川の梨園を守る会」は、担い手の減少による将来の梨園の維持に危機感を感じ、梨園を次代に引き継ぐため、集落内で話し合いを重ね、将来に残す園地を検討・計画し、農地の流動化を図ることを目的として設立しました。

現在は、将来の梨園を担う人材を確保するために、梨栽培に興味がある人を研修生として受け入れる準備を行っています。

これまで、県の普及センターや農協、市の協力を得ながら受け入れ体制の話し合いを進めてきました。話し合いの中でも、研修期間中に収入が無いことが一つの課題でもあったので、新たな研修期間中の支援策を積極的にPRし、研修生の募集を進めていきたいと考えています。

市内梨農家の声

伊万里牛産地強化  
支援事業

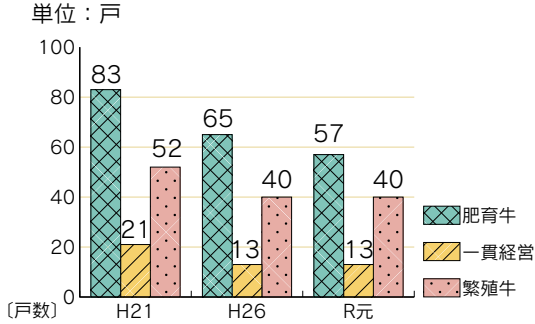
伊万里牛は、ふるさと納税の返礼品として大変好評であり、寄付額の約半分を占めるほど、本市の重要な特産品となっています。

しかし、ここ10年間で市内の肥育牛農家の戸数は、生産コストの高騰などによる経営の悪化や後継者不足などから減少し「グラフ2」、また、飼養頭数の推移を表す「表」からは、肥育牛、繁殖牛ともに減少を続ける生産現場の現状が見えます。さらに追い打ちをかけるように、今年に入ってから新型コロナウイルス感染症の影響により牛肉の消費量が低迷し、枝肉価格が下落。肥育牛農家の経営状況はますます悪化しています。

このような状況下にある伊万里牛の産地を守るために、新たに一貫経営（※）や増頭などの規模拡大への支援を行う、伊万里牛産地強化支援事業に取り組んでいきます。

（※）一貫経営とは、繁殖牛による子牛の生産から肥育牛としての出荷までを、同一経営で行うこと。

【グラフ2】 農家数の推移



【表】 飼養頭数の推移

単位：頭

	H21	H26	R元
肥育牛	10,335	9,388	8,916
繁殖牛	732	632	555



↑ 肥育牛

このままいくと10年後は

肥育牛農家は市内で9戸減少 ⇒ 頭数約600頭減少  
繁殖牛農家は市内で3戸減少 ⇒ 頭数約10頭減少

【空き牛舎の状況（令和元年11月現在）】

- ・遊休牛舎：21件（平成26年～令和元年）
- ・飼養規模：1,830頭
- そのうち、活用できているのは
- ・牛舎：6件
- ・導入頭数：235頭

将来の伊万里牛産地を維持・強化するための4つの取り組み

新規

一貫経営への支援その①

- 肉用牛サポートセンター利用料補助
  - ▷ 母牛利用料日額1千円/頭×1/3（最長2年、1戸当たり上限3頭）
  - 子牛を自家産の肥育素牛とすることが条件

既存事業

一貫経営への支援その②

- 繁殖雌牛導入支援
  - ▷ 導入費×1/10（補助金上限8万円/頭）
  - 増頭対策、改良対策

新規

肥育牛農家の規模拡大への支援その①

- 空き牛舎賃借料の補助
  - ▷ 賃借料年額60万円（上限）×1/2（最長3年）

新規

肥育牛農家の規模拡大への支援その②

- 肥育素牛増頭促進
  - ▷ 1頭当たり5万円補助
  - 10頭以上の増頭が条件



↑ JA伊万里肥育牛部会 副会長 杉山 光正 さん（黒川町）

市内肥育牛農家の声

私は、夫婦で現在90頭近い肉用牛を飼育しています。今年度、市でJAサポートセンターの利用料の補助や空き牛舎の賃料補助制度ができたこと聞いて、大変ありがたいと部会内でも話しています。

これまで農協や行政など多くの支援を受け、ともに銘柄確立に頑張ってきた甲斐があり、今では全国的にも伊万里牛ブランドとして認知されるようになりました。

しかし、ここに来て新型コロナウイルス感染症の影響を受け、枝肉の市場価格が暴落するなど、肥育牛農家もこれまで経験したことのない大変厳しい状況となっています。

このような中ではありませんが、いつか元の状態に戻れると信じて、今はじっと耐えて伊万里牛の産地を守るため頑張っていきたいと思っています。

あなたのまちのスポーツ推進委員です

市では、生涯スポーツの普及・振興を図るため、『スポーツ基本法』に基づき、スポーツ推進委員を委嘱しています。任期は2年で、各町・地区に3人ずつ、合計39人を配置しています。

さまざまなスポーツ活動を通して、楽しく健康的な生活が送れるようサポートしていきますので、「ニュースポーツをやってみたい」、「スポーツイベントに参加したい」など、気軽に声をかけてください。

●主な役割

地域住民や各種団体、行政・教育機関の要請に応じて、ニュースポーツの実技指導や大会の企画運営など、各種スポーツ事業に対する助言、協力を行います。



↑伊万里ウオークの抽選会の様子

●主な活動

市民ソフトバレーボール大会(7月)やラジオ体操(8月)、伊万里さわやかスポレク祭(3月)、各町・地区ニュースポーツ教室(随時)の企画運営のほか、伊万里ウオーク(11月)、伊万里ハーフマラソン(1月)などのスポーツ行事のスタッフとして協力しています。



↑伊万里ハーフマラソンの給水所の様子

また、定例研修会をはじめ、県・九州レベルの研究大会や実技研修会に参加し、指導力の向上に努めています。

●問合先 スポーツ課スポーツ振興係 (☎233187)

町・地区	氏名		
伊万里	池田 レイ子 <sup>23</sup>	木須 磨貴子 <sup>12</sup>	齋藤 裕樹 <sup>1</sup>
牧島	黒川 美由紀 <sup>6</sup>	廣川 勝一 <sup>5</sup>	石丸 祐治 <sup>1</sup>
大坪	松田 恵 <sup>13</sup>	田中 省吾 <sup>11</sup>	山口 菊男 <sup>2</sup>
立花	百田 勝洋 <sup>15</sup>	田中 武宣 <sup>7</sup>	川越 はつみ <sup>1</sup>
大川内	副島 裕介 <sup>15</sup>	嶋田 竜也 <sup>5</sup>	中野 美香 <sup>1</sup>
黒川	小旗 寛十郎 <sup>23</sup>	脇山 幸次 <sup>13</sup>	田中 香代子 <sup>1</sup>
波多津	田中 浩一 <sup>5</sup>	小杉 まりも <sup>1</sup>	田中 正三 <sup>1</sup>
南波多	小原 礼子 <sup>23</sup>	江口 泰彦 <sup>13</sup>	浦田 尚徳 <sup>3</sup>
大川	大坪 秀樹 <sup>9</sup>	音成 千穂子 <sup>5</sup>	池田 裕城 <sup>3</sup>
松浦	大川内さゆり <sup>11</sup>	原口 尚紀 <sup>11</sup>	百武 智治 <sup>7</sup>
二里	前田 美弥子 <sup>11</sup>	峯 侑平 <sup>7</sup>	川島 剛 <sup>3</sup>
東山代	東島 雅子 <sup>7</sup>	中倉 啓介 <sup>3</sup>	谷 優也 <sup>1</sup>
山代	石橋 由紀子 <sup>9</sup>	力武 英一郎 <sup>6</sup>	松永 久美子 <sup>1</sup>

※敬称略

※氏名の後の数字は、委員の経験年数(4月1日現在)

新型コロナウイルス感染症対策  
個人・企業が市へさまざまな物資を寄贈

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、個人や企業から続々と市へマスクやアルコールなど衛生用品の寄贈がありました。

4月22日、理容店を営む松永一広さんが、大人用手作りマスク360枚と子ども用手作りマスク140枚を市に寄贈しました。寄贈されたマスクは、留守家庭児童クラブに通う児童などに配付されました。

4月27日、住宅のリフォームなどを手がける亀栄リフォーム株式会社、亀栄建材株式会社(伊万里町)は、市にアルコール20リヤアルコールスプレー200本、プラスチックマスク80本、銀イオンスプレー5本を寄贈しました。アルコールなどは、市の窓口で使用されます。

同日、黒川町で鉄工業を営む株式会社宝山工業が、除菌効果が期待できる酸性電解水の給水器を市に寄贈しました。給水器は黒川小学校に設置し、電解水は波多津小学校や青嶺中学校、黒川幼稚園など、市北部地区の公共施設

にも配付されます。

4月30日、施設管理業を営む九州産業株式会社(東山代町)が、市へ手作りマスク100枚を贈りました。マスクは、市で主に窓口対応をする職員に配付されました。

5月11日、電気設備工事などを手がける堤電気株式会社(立花町)は、マスク2000枚を寄贈しました。伊万里・有田地区医師会を通して医療機関に配付されます。

5月12日、伊万里ライオンズクラブは、青少年健全育成の一貫として、マスク4000枚を寄贈しました。マスクは小・中学校など教育現場で使用されます。

同日、全日本同和会伊万里支部からも市へ手作りマスク50枚の寄贈がありました。贈られたマスクは、市で窓口対応をする職員に配付されました。

5月18日、有田町で酒造業を営む宗政酒造株式会社が、市へ高濃度アルコール100本を寄贈しました。消毒用アルコールの代用品として介護施設や留守家庭児童クラブなどで活用されます。

## 6月から市税の納付が始まります

### ● 問合せ

- ▷ 市県民税、国民健康保険税について 税務課市民税係 (☎2148)
- ▷ 固定資産税について 税務課固定資産税係 (☎2149)
- ▷ 口座振替、納税相談について 税務課収納対策室 (☎2152)

集合徴収市税（市県民税、固定資産税、国民健康保険税）の納付が、6月から始まります。納税通知書、全期前納用納付書、第1期と第2期の納付書（ただし、口座振替の利用者には、納税通知書のみ）を納税義務者に6月中旬に郵送しますので、最寄りの金融機関またはコンビニエンスストアで期限内に納付してください。また、固定資産税の課税対象者には、課税明細書を同封しますので、資産内容を確認してください。

### ■ 集合徴収市税の納期

6月から翌年3月までの10期です。ただし、税額によっては納期数が少ない場合があります。

### ■ 納付方法・納期限

#### ▷ 納付書

納期が属する月の月末（12月のみ25日）です。  
※月末が金融機関の休業日にあたる場合は、翌営業日になります。

#### ▷ 口座振替

振替日は、毎月26日（12月のみ25日）です。  
※振替日が金融機関の休業日にあたる場合は、翌営業日になります。  
※振替できなかった場合は、翌月10日に再振替をします。

#### 口座振替を利用する人へ

#### 振替方法の変更・廃止はお早めに

振替方法を、『一括から期別納付』に、もしくは『期別から一括納付』に変更、または廃止する場合は、**6月15日（月）**までに収納対策室に連絡してください。納税通知書が届いてからでは、間に合わないことがあります。



### ■ 国民健康保険税の課税限度額が変わりました

- ▷ 基礎（医療保険）分 改正前：61万円 改正後：63万円
- ▷ 介護保険分 改正前：16万円 改正後：17万円
- ※後期支援分（19万円）の改正はありません。

### ■ 国民健康保険税の軽減（5割・2割）の判定所得基準が引き上げられました

#### ▷ 国民健康保険税額の5割軽減・2割軽減の判定所得基準額

	5割軽減の対象	2割軽減の対象
改正前	合計所得金額が <sup>※</sup> （33万円＋被保険者数× <b>28万円</b> ）以下の世帯	合計所得金額が <sup>※</sup> （33万円＋被保険者数× <b>51万円</b> ）以下の世帯
改正後	合計所得金額が <sup>※</sup> （33万円＋被保険者数× <b>28万5,000円</b> ）以下の世帯	合計所得金額が <sup>※</sup> （33万円＋被保険者数× <b>52万円</b> ）以下の世帯

### ■ 国民健康保険税の減免について

新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の収入減少が見込まれる場合など、国民健康保険税の減免が受けられる場合があります。詳しくは市民税係に相談してください。

### ■ 納税のおすすめポイント

#### ▷ 口座振替が便利

市内金融機関または市役所で申し込んでください（申し込む際は、通帳の届け出印が必要です）。

#### ▷ アプリケーションソフト『Pay Pay』『Pay B』で簡単納付

スマートフォンやタブレット端末で納付書のコンビニ収納用バーコードを読み取り、納付することができます。決済手数料は無料（※1）です。なお、納期限が過ぎた納付書や30万円を超える納付書は使用できません。

（※1）通信にかかるパケット代は、利用者の負担です。

#### ▷ 納税相談の利用

失業や長期入院などの理由で納税が困難な場合は、分納などの相談を受け付けます。また、借金返済や家計状況に悩んでいる場合は、ファイナンシャルプランナーによる家計改善に向けた相談（※2）を利用してください。

（※2）相談日（予約制）… 毎月第2火曜日、第4日曜日

### ■ 徴収猶予の特例制度

新型コロナウイルス感染症の影響により事業などに係る収入が減少し、市税の納付が困難な場合は、最長で1年間、徴収の猶予を受けることができます。対象となるには要件がありますので、収納対策室まで相談してください。

風しん抗体検査

風しん第5期予防接種のお知らせ

風しんは、成人がかかると症状が重くなることがあります。また、妊娠初期の妊婦が感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に障害が起きることがあります。

特に、昭和37年度から昭和53年度までの間に生まれた男性は、過去に公的な予防接種が行われていなかったため、

自分が風しんにかかり、家族や周囲の人たちに感染を広げてしまうおそれがあります。あなたとこれから生まれてくる子どもを守るために、クーポン券を使って風しんの抗体検査と予防接種を受けましょう。

●問合先 健康づくり課保健予防係  
 (☎) 23916

抗体検査・予防接種までの流れ

市からクーポン券が届きます

クーポン券は段階的に郵送しており、令和2年度は昭和41年度から昭和46年度までに生まれた男性に、4月1日付けで郵送しています。クーポン券が届いていない人は連絡してください。

抗体検査を受けます(無料)

健康診断の機会などを利用し、医療機関で採血をして検査します。結果が分かるまでに数日かかる場合があります。検査のときにはクーポン券と居住地が確認できる書類を持参してください。

免疫が無い場合は予防接種を受けます(無料)

抗体がある人は予防接種は不要です。

水道週間 6月1日~7日

◆令和2年度スローガン◆

「飲み水を  
未来につなごう  
ぼくたちで」



●水道に関する問合先  
 上下水道部管理課管理係 (☎) 235490

6月の市民スポーツ

13日(土)~

●市長旗争奪伊万里市少年野球大会  
 午前8時開会 国見台野球場

28日(日)

●伊万里チャレンジカップテニス大会  
 午前9時開会 国見台庭技場

※新型コロナウイルス感染症の影響で変更の可能性あり

熱中症を予防して元気な夏を

●問合先 伊万里消防署消防2課救急係 (☎) 231199

熱中症は、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。子どもや高齢者、持病がある人などは熱中症になりやすく、死に至るおそれもあります。熱中症にならないために、十分な対策を行いましょう。



こんなときは  
ためらわずに救急車を呼びましょう



・意識がおかしい  
 ・自分で水分が取れない



令和元年度の全国の熱中症(疑い)救急搬送者は約7万人で、そのうち126人が亡くなっています。なお、伊万里有田管内では、36人を救急搬送しています。



## お詫びと訂正

広報伊万里5月号の記事中に誤りがありましたので、次のとおり訂正してお詫びします。

### (訂正箇所①)

12 ページ『伊万里市消防団各分団のホープを紹介』の伊万里分団と大川内分団の団員の顔写真

(正)



伊万里分団  
池田 祐輔  
(平山)  
第5部(団員)



大川内分団  
大久保 匡  
(吉田)  
第4部(団員)

### (訂正箇所②)

15 ページ『新型コロナウイルス感染症に関連する各種相談窓口』の県広報広聴課 一般電話相談窓口(コールセンター)の受付時間

(誤)

午前8時30分～午後5時15分 平日のみ

(正)

午前8時30分～午後9時 土・日曜日、祝日も実施



↑ 深浦市長(左)に目録を手渡す松尾さん

## 松尾勝馬さんが寄付 「伊万里牛の生産振興などに役立てて」

肉用牛の牧場などを経営する松尾勝馬さん(黒川町)が5月1日、市に1000万円を寄付しました。松尾さんは、伊万里牛の生産振興や地産地消などに活用してほしいと、平成30年から毎年1000万円ずつ市に寄付しており、今回が3回目となります。市役所を訪れた松尾さんは、深浦弘信市長に、「新型コロナウイルスの感染拡大で牛肉の消費が落ち込んでいる。今が

性根をすえて踏ん張るとき。2、3年先は現在よりも良くなっているように、前向きな気持ちで生産活動を頑張っていく」と話しました。深浦市長は、「市民を代表してお礼申し上げます。農家が諦めず経営を続けられるよう市として支援したい」と感謝の気持ちを伝えました。寄付金は、新規就農者支援や繁殖雌牛導入対策などに活用する予定です。

## 避難行動

### 要支援者制度

避難行動要支援者制度とは、高齢者や障害者などの要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難な人の名簿(避難行動要支援者名簿)を作成して、避難行動要支援者が災害時における支援を地域の中で受けられるようにするためのものです。

いざというときに、迅速な避難支援をするためには、日頃から見守りや声かけなど、顔の見える関係づくりが大切です。そのため、避難行動要支援者名簿に掲載された人のうち、地域支援を必要として自身の情報提供に同意した人を掲載した『同意者名簿』を作成し、地域の避難支援者などへ事前に提供することで、日頃からの体制づくりなどに役立てます。

『同意者名簿』への登録は随時受け付けていますので、災害発生時に地域の支援が必要な人は登録をお願いします。

● 問合せ 福祉課福祉総務係

(☎) 232120



## ご寄付

### ありがとうございました

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

※4月1日～30日受付分

(敬称略、希望者のみ掲載)

▼ 手作りマスク 150枚

特定非営利活動法人

NPO 栄町地域づくり会

▼ マスク(大人用・子ども用) 各1000枚 四拾会

▼ 手作りマスク 48枚 愛育園

▼ 手作りマスク 500枚

松永一広(山代町久原一区)

▼ 除菌電解水給水器 一式

株式会社宝山工業

▼ アルコールスプレー 200本 ほか

亀栄リフォーム株式会社

亀栄建材株式会社

▼ フロア・ハンディモップ

各6本(2か月無償レンタル)

株式会社いけなが

▼ 手作りマスク 100枚

九州産業株式会社

● 十万円

早田 一人

(亡父光二 松浦町金石原)

《教育振興奨励基金》

● 香典返し、▼は篤志寄付です。